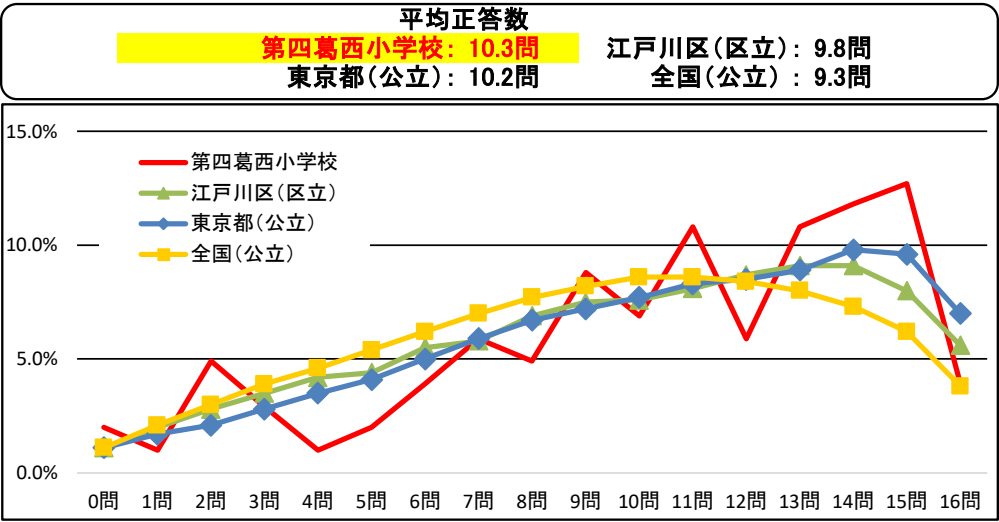


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【算数】江戸川区立第四葛西小学校

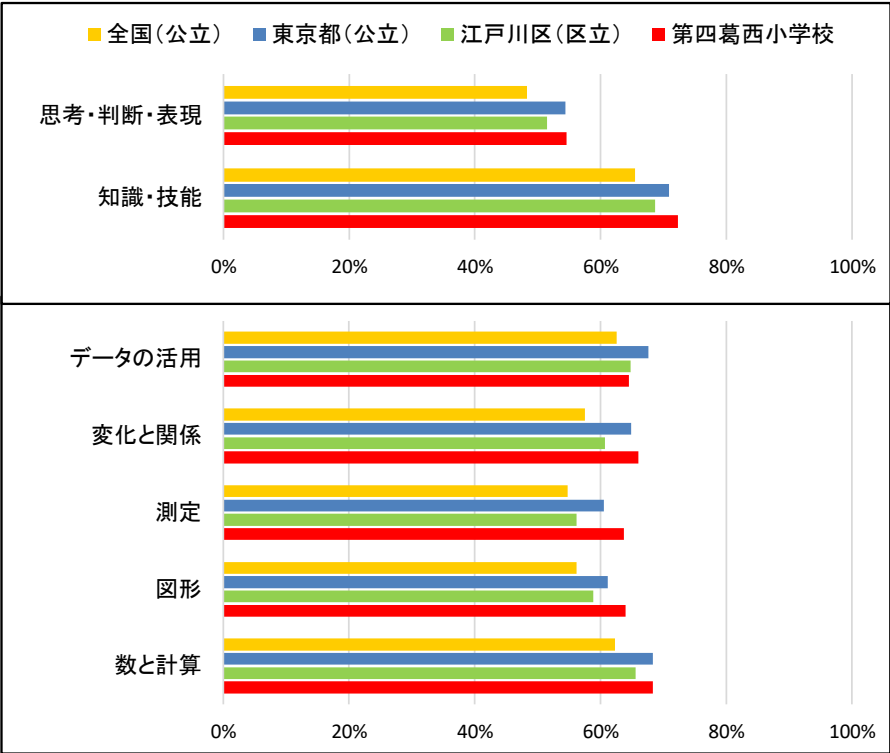
正 答 数 分 布



【平均正答率の差】

第四葛西小学校	65%
江戸川区(区立)	61%
東京都(公立)	64%
全国(公立)	58%
都との差(ポイント)	1.0

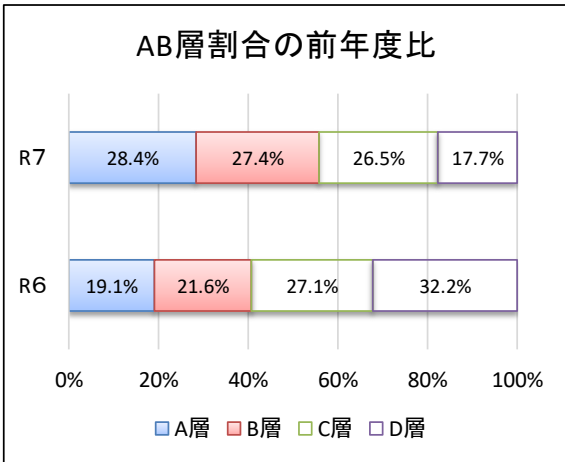
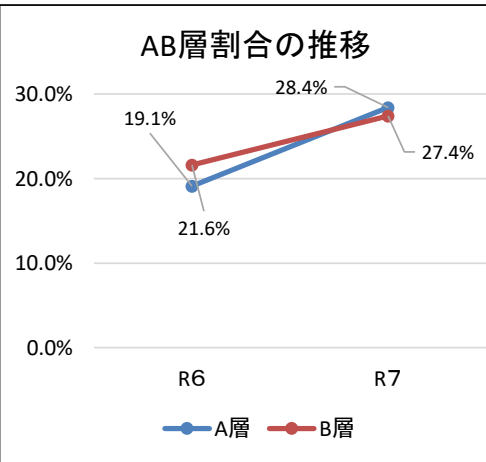
「領域別」の結果



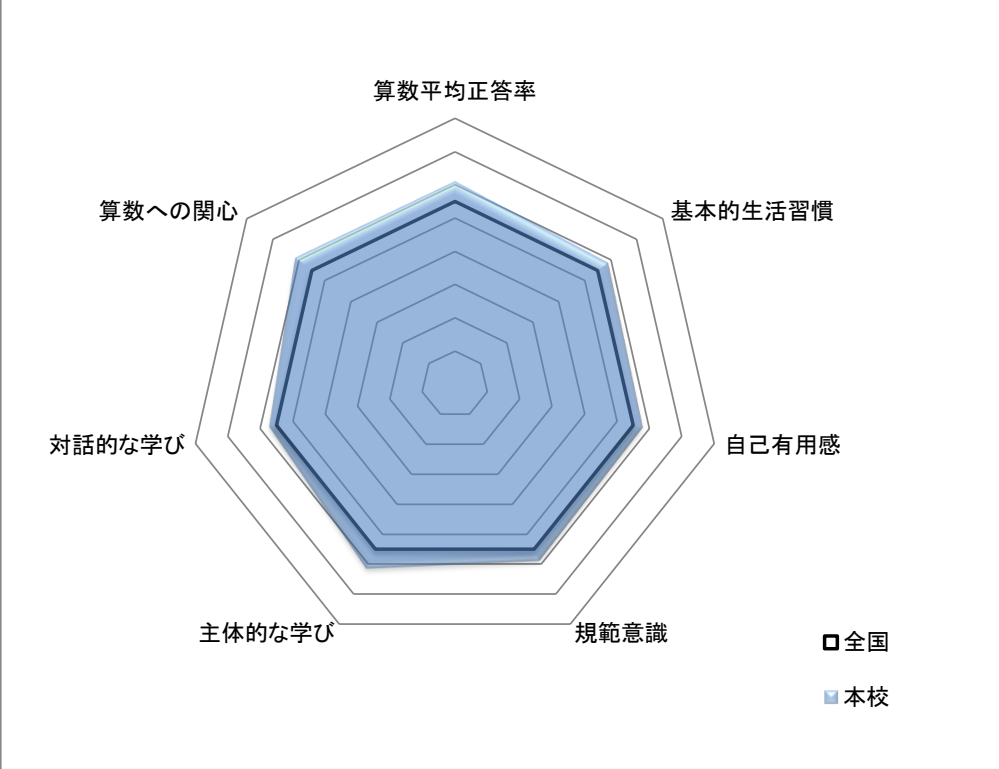
四 分 位 に お け る 割 合 (都 全 体 の 四 分 位 に よ る)

算 数	上位 ← 下位			
	A層 14～16問	B層 11～13問	C層 7～10問	D層 0～6問
第四葛西小学校	28.4%	27.4%	26.5%	17.7%
江戸川区(区立)	22.7%	25.9%	27.9%	23.5%
東京都(公立)	26.4%	25.7%	27.6%	20.3%
全国(公立)	17.3%	25.0%	31.4%	26.3%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。



各 領 域 に お け る 、 全 国 平 均 正 答 率 及 び 、 全 国 の 肯 定 的 回 答 合 計 値 を 基 準 と し た 場 合 の 、 本 校 の 様 子 。



《チャートの特徴》

- 全ての項目において、全国平均の割合を上回っている。
- 全体的に見ると、算数への関心や主体的な学びについては割合が高い。
- 全体的に見ると、対話的な学びについては割合が低い。

《家庭・地域への働きかけ》

- 基礎的、基本的な知識の定着を図るために、家庭学習の習慣が身に付くよう家庭で指導をお願いしている。

《現状把握》

- AB層の割合と取組内容について
- ・AB層を合計すると55.8%である。この割合は、江戸川区、東京都、全国平均を上回る数値である。
- ・経年で見ると、A層、B層は上昇傾向である。
- ・A層、B層ともに江戸川区、東京都、全国平均を上回る割合である。

《学校の取組》

- ・教員の指導力向上
- ・1、2年生が定期的な交換授業を、3年生以上が教科担任制を実施している。
- ・授業公開週間を設け、全教員が、年間に最低3回から4回程度は授業公開を行っている。授業公開後は、Microsoft Teamsを活用し、意見交換を行っている。
- ・教科研究班をつくり、定期的に教科の専門性が高い指導法について議論している。

・基礎学力の保障

- ・水曜日の朝の時間に、朝学習の時間を設定し、算数の基礎・基本を定着するための百マス計算や学力調査問題の復習等の取り組みを行っている。
- ・定期的に、算数の授業前または授業後に習熟の時間をとっている。

・学習習慣の確立

- ・本校独自の学び方スタンダードを設定し、徹底できるよう指導している。
- ・学年×10分程度の家庭学習を出している。
- ・金曜日にタブレット端末を活用したドリルパークの宿題を出し、家庭に協力を仰ぎ、確実な実施ができるようにしている。

・AB層の育成

- ・学習したことを使って取り組む習熟の時間や、活用の時間を十分にとる指導と評価の計画を立てよう努めている。
- ・習熟度別指導を行い、実態に即した指導を行っている。
- ・タブレット端末を活用し、効率よく記述内容を把握し、形成的評価を行えるよう努めている。